



6. 閘門基礎杭を油谷式複働錘No.1にて打込作業中。

閘門杭打作業

元口35cm、末口23cm、長11.0m及12.0mの二種にしてエゾ松を用ひ、杭尖には鐵脊を付した。總本數745本、杭打機は油谷式複働錘機No.1を用ひたが、錘重5,216kg、steamの氣壓は90~110#/in²であつた。尙打止沈下は最終打撃10回の平均を採つたが、其の量は普通3~5mmで、杭の浮上りは測定の結果殆んど0mmであつた。